

ひめまつ

22



宇都宮須賀高等学校生徒会

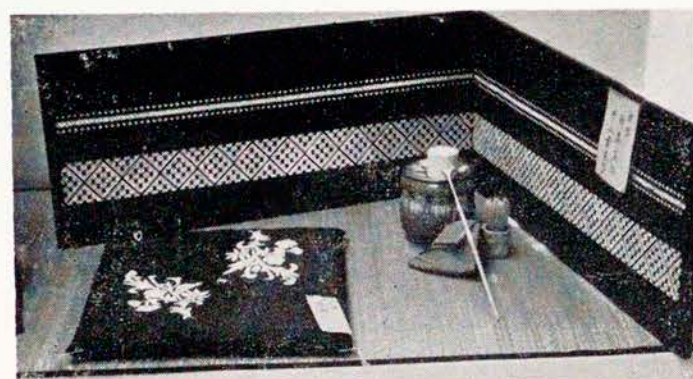


華やかに開幕した文化祭会場入口
見学者も満員！

昭和四十二年度
文化祭から



郷土文芸教室 “山本有三展” 会場風景



手芸コーナーの一隅にこんな茶室もありました

宇都宮須賀高等学校校歌

一
二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ
学びの道筋を まさきくあれど
かたみに誓いて いそしめ励む
教えの庭こそ げに尊けれ
あわれ尊 この学びや

二
庭面に茂れる 姫松小松
変らぬ操は 千代万代と
かたみに祝いて いそしめ励む
学びの庭こそ げに芽出度けれ
あわれ芽出度 この学びや

校 歌



校内展示



和裁 “まあステキ!”



洋裁 “上手にできました!”



創作舞踊 “花の歌” を演ずる体操部



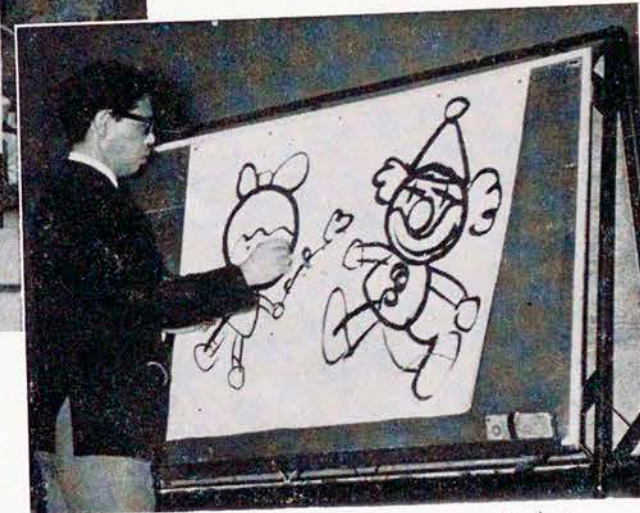
校内合唱コンクール
天使のような美声が館内にひびく



校内弁論大会 “私の主張は……?”



文化祭栃木会館会場入口



講演中絵筆をふるう やなせたかし先生



即興の創作漫画揮毫に入ろうとするたかし先生



県芸術祭の特選になった
“白い晴着”の舞台の一シーン



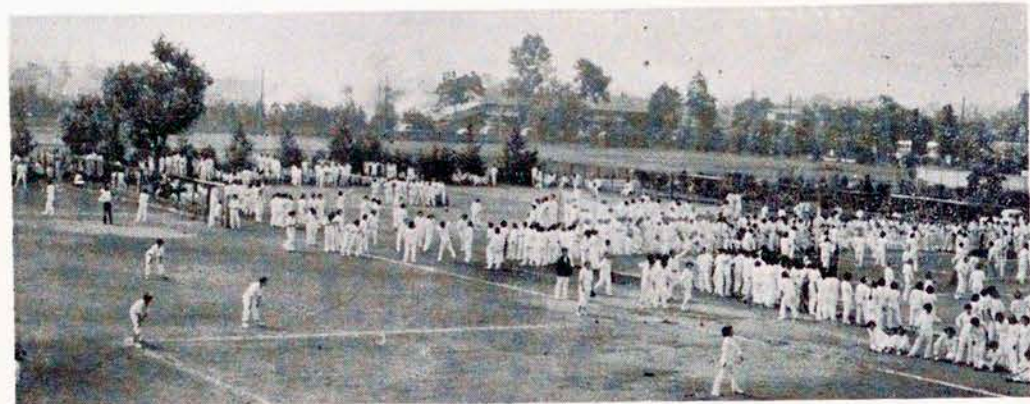
毎日全国コンクール第一位の
金子夢路さんの独唱



磐梯高原の冷気を胸一杯に朝の体操



頂上はどこ？



恒例の全校球技大会 “どのクラスも頑張ってる！”



戸叶里子女史の講演 卒業生教養講座から



ステップも軽やかに 放課後の一時をフォークダンスで！
(撮影・3の9 小森明美)

エネスコ弁論大会県予選
本校上位独占の奮闘ぶり



学 園 この一年の歩みから



熱演する音楽部……栃木会館にて



テーブルマナー 日頃の一？はどこへやら
正餐コースを前にして



夢を持ち、理想の実現へ

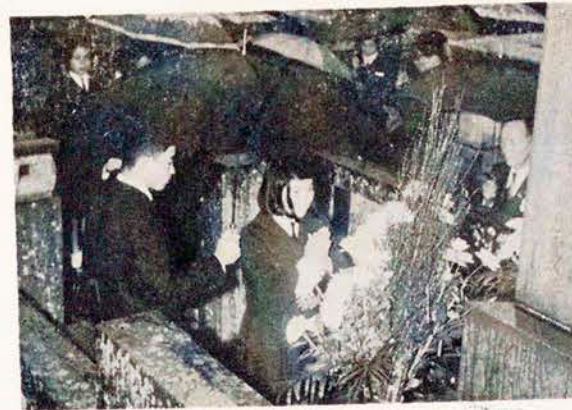
学校長 須賀友正

今年は明治百年の年と言われ、それに伴う国家的な行事が、全国各所において華やかに催されるようである。

本校も創立以来六十八年、近く七十周年を迎えようとする、いわば筋金の通った明治っ子ということが出来る。創立者栄子先生の代が三十四年、私が本年を無事に勤め上げれば、先代と同じ三十四年を本校経営に当たることになり、私にとってもまた記念すべき、意義深い年にあたるのである。幸い健康にも恵まれているので、なおいつそう精進を重ね、本校の発展のため、生涯を賭して力を尽くして行きたいと念願している。

私にとっていちばん嬉しいことは、在校生、卒業生を問わず、本校同窓生の皆さんが、よくやって下さることである。私は毎日、各方面で、いろいろな方々とお会いします。その際必ずといっていい程、卒業生のだれ彼れの話、また在校生の態度の良し悪し等の話がでるが、「御校の卒業生のHさんは、もう何年働いてもらっているがよくやっています」とか「御校の生徒さんは皆品がよくおとなしい。町を歩いても、乗車態度なども申し分ない」とほめられたり、また本校生徒の隠れた善行に対して見知らぬ人達から感謝の手紙などをいただく時ほど嬉しいことはない。

今年度は、学園を挙げて「優しい心づかいの運動」が展開され、社会福祉に寄与しようとする実践活動が活発に行なわれ、地道な、根強い動きとして、本校の新しい伝統を形作るうとしてつづつあることはまことに喜ばしい。このような実践を通して社会の底辺をみつめ、この世の中に「不幸な人を一人もいなくする」という考えに、皆さんが到達してくれたらどんなに嬉しいことか。そして、在るがままの現実を深く認識しながら、一方では、先生も生徒も夢を持ってほしい。今日ほど夢の少ない時代はない。夢は理想にもつながる。その理想の実現に打ち込んでいくような情熱こそ、現代の青少年に望みたいものである。



御魂安かれと
創立者栄子先生の墓参



命日の年中行事……
栄子先生のお墓お掃除



敬老の日・老人への
贈りものの整理中



ちとせ寮を慰問する優しい乙女たち
(1の4)



コーラス部桔梗寮慰問
よいお姉さんになりました